

■ ベンチャーファイナンス (半日 / 4h)

ベンチャー企業躍進の必要性が叫ばれて久しく、日本でもシリコンバレーに追従できるだけの環境が整いつつあります。本講座は資金調達の実践者であるベンチャー企業のCFOから、その基本的な考え方、コーポレートファイナンスとの違い、企業価値の算出方法から、参加投資家の顔ぶれ、具体的な株式発行、ストックオプションの留意点、またEXITとしてのIPO、M&Aなどまで、幅広くかつ最新のケーススタディと合わせ紹介していきます。

- 【講師】 小泉 泰郎 (株式会社FINC Technologies 代表取締役 CEO&CFO
元 ゴールドマン・サックス証券株式会社 資本市場本部 共同本部長)
- 【日時】 2024年6月26日(水) 午後1時00分 ~ 午後5時00分 (4時間)
- 【受講料】 32,000円 (税込)

Session 1 ベンチャーファイナンスに関する基礎知識 < 60分 >

- ベンチャーファイナンスとコーポレートファイナンスの違い
 - 財務戦略の重要性 ~ 財務戦略を強化すると...
 - 組織戦略 ~ フェーズ毎の取締役の役割
 - 市場戦略 ~ ステージ毎のマーケティング戦略
- 企業価値算定手法
 - インカムアプローチ ~ DCF法、収益還元法、配当還元法
 - マーケットアプローチ ~ マルチプル法、市場株価法、類似取引比準法
 - コストアプローチ ~ 時価純資産法、簿価純資産法、清算価値法

Session 2 ベンチャー企業特有の価値評価 と 資金調達におけるプレイヤー < 90分 >

- ベンチャー企業特有の価値評価
 - Forward PER、PE to Growth
 - PSR、特殊なメトリクス
 - VCメソッド ~ 上場時の想定価格・必要なリターンを逆算する
 - ベンチャーキャピタルメソッド
 - 各ステージの割引率 ~ シード、シリーズA、ミドル・レイター
 - 事業の健全性を表す重要な Unit Economics ~ バーンレート、MRR、チャーンレート、ライフタイムバリュー、CAC
 - ベンチャー投資の黄金律 ~ 健全な Unit Economics の指標
 - Valuation Reference ~ 実践編
- 資金調達におけるプレイヤーの種類
 - 家族、クラウドファンディング、エンジェル投資家、インキュベーター、ベンチャーキャピタル、日本郵政キャピタル
 - コーポレートベンチャーと戦略的提携先
- 企業発展段階とラウンド戦略
 - ラウンド毎の株主構成推移 ~ CEO、共同ファウンダー、オプションプール、投資家、取締役
 - シードラウンド、シリーズA、シリーズB、ファイナルラウンド
 - 投資家の関心 ~ 投資家が関心を持つ9つのポイント

Session 3 資金調達プロセスの実際 < 90分 >

- 株式の種類
 - 普通株式、優先株式、種類株式、転換社債、ストックオプション ~ メリットと注意点
- 希薄化の考え方
- EXIT戦略
 - IPO (新規上場)
 - M&A (戦略的提携、売却)